

健康管理をサポートする録画テレビ“BHR4シリーズ”

LCD-TV "BHR4 Series" with BD Recorder Supporting Health Care

1. 概要

体組成計のデータ管理は、現在、パソコンや携帯端末を通じてWebサーバ上で行われるケースが多く、インターネット接続が必要となるため、一部ユーザーにはそれがハードルとなっている。そこで、もっと簡単に健康管理をしたいというニーズに応えるため、ブルーレイレコーダ内蔵液晶テレビ“BHR4シリーズ”では、タニタ製の体組成計インナースキャン^(注)BC-505（別売）と組み合わせて使用することで、日々の健康管理をサポートする機能を搭載した。BHR4では、内蔵のハードディスクに測定データを蓄積して管理するため、インターネットに接続することなく、誰でも簡単に健康管理ができる。

2. 体組成計との通信方式

BC-505とBHR4の間の通信にBluetooth^(注)を用いることで、低消費電力な無線通信を実現している。BluetoothのプロファイルはSPP（Serial Port Profile）を用いており、仮想的にシリアルケーブルによる接続と同様の状態を作り出すことで、通信を可能にしている。BHR4が電源オフの状態（主電源が切の場合は除く）でも通信可能な設計としたため、測定時にテレビの電源状態を気にする必要はない。

3. 健康管理サポート機能

今回搭載した健康管理をサポートする機能を次に示す。この機能は最大4人まで使用できる。

(1) 測定結果の一覧表示

BC-505で測定すると、測定結果がBHR4に自動転送される（図1）。BHR4は転送されてきた体重、体脂肪率、筋肉量、BMI（Body Mass Index）などの8項目の測定結果を一覧表示する（図2）。また、測定結果から“体型”を4段階（やせ／普通／肥満度1／肥満度2以上），“内臓脂肪”を3段階（標準／やや過剰／過剰）で判定し、イメージ画像とともに結果を表示する。テレビの大画面で一覧表示することによって、測定結果全体の把握がより容易になる。

各ユーザーの最新の測定結果を常時蓄積しているため、気になったときにいつでも確認できる。

(2) 体重・体脂肪率のグラフ表示

体重・体脂肪率の測定結果を内蔵ハードディスクに最大2年間分蓄積してグラフを表示する（図3）。表示範囲は4週間と3か月で切り替えることができるので、短期間／長期間の身体の変化を確認できる。また、体重の目標値を設定してグラフ上に表示できるので、現在の体重との差を

視覚的に確認できる。

(3) メモアイコン機能

日々の測定結果に対してメモを残したいというニーズがあるが、テレビのインタフェースではどうしても文字入力に手間がかかってしまう。そこで、日々の出来事を連想させる8種類のメモアイコン（図4）を用意し、これらの中から選択するだけで簡単に設定できるようにした。メモアイコンは、各ユーザーが自由に使用できる。

(4) パスワード設定機能

測定結果はプライベートなものであり、他人に見られないくないというユーザーも多い。そこで、ユーザーごとにパスワードを設定できる機能を搭載し、プライバシーを守りながらの使用を可能としている。



図1. 体組成計BC-505とBHR4の連携イメージ



図2. 測定結果の一覧表示



図3. 体重・体脂肪率のグラフ表示

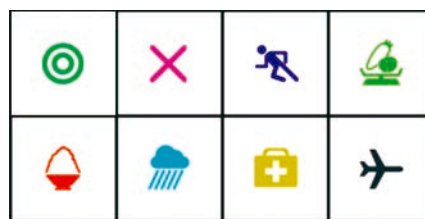


図4. メモアイコン

細目地液晶ディスプレイ“LMシリーズ”及び フロントメンテナンス用壁掛け金具“BR-LM1KK”

LCD Display Wall with Super Narrow Bezel "LM Series" and Wall Mount Kit with Front Access for Maintenance "BR-LM1KK"

当社は、46型・55型の細目地液晶マルチ大画面表示装置を順次市場投入してきた。また、同時にマルチ大画面構成時の設置性及び保守メンテナンスを容易にする専用の壁掛け金具を開発し、顧客から高い評価を得ている。

今回、従来のラインアップに加え、大画面監視表示システムに対応した46型・55型FullHD（High Definition）液晶マルチ大画面表示装置“LM46P1（W）”“LM55P1（W）”，及び専用壁掛け金具“BR-LM1KK”を製品化した。

この製品の主な特長は次のとおりである。

(1) マルチ設置時のベゼル幅5.7mmを実現

隣り合う液晶パネルの合計ベゼル幅は5.7mmで目地の目立たない大画面表示装置の構築に寄与している。

(2) 監視用途に適した液晶モジュールを搭載

この製品に採用した液晶モジュールはノングレアパネルであり、視認性に影響を与える外光や蛍光灯などの映り込みを軽減している。その他の主要スペックは次のとおりであり監視用途として十分な性能を確保している。

①解像度：1920×1080

②輝度：700cd/m²

③コントラスト比：3,500：1

④バックライト寿命：50,000時間

(3) 映像補正機能

当社DLP（注）（Digital Light Processing）方式マルチディスプレイ機種で好評を得ているマルチ画面間での均一な色補正を実現するカラースペースコントロール機能を搭

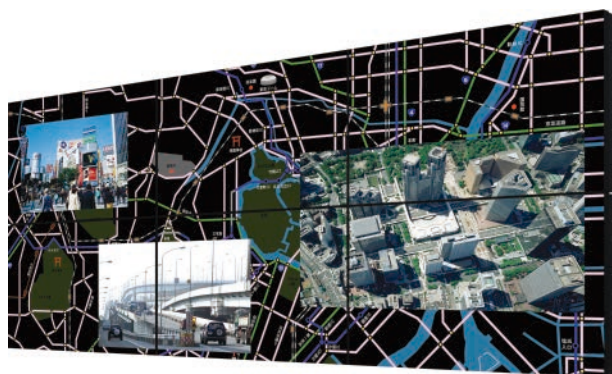
載した。さらに、各マルチ画面境界で発生してしまう輝度むらをスムーズに補正するデジタルスモーキング・グラデーション補正機能も搭載し、自然で輝度段差のないマルチ画面を構成できる。

(4) 多彩な入力端子

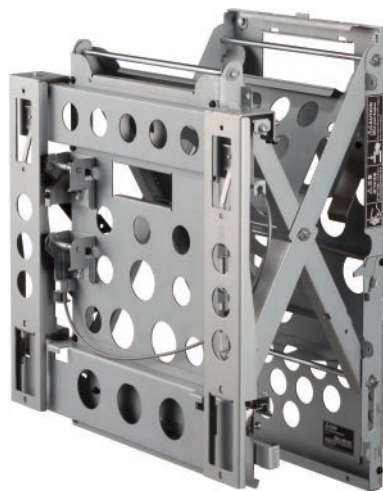
従来の入力端子に加えHDMI（注）、DisplayPort（注）端子を搭載し、多彩な映像入力インタフェースに対応している。またIntel社が提唱するOPS（Open Pluggable Specification）規格準拠のオプションスロットを装備しており、オプションのSDI（Serial Digital Interface）受信BOX“DP-1SDI-3G”を装着することによってSDI信号の長距離伝送やデジタイゼーション接続が可能となる。また、OPS規格準拠のコンピュータを装着することによって、デジタルサイネージ表示装置としても容易にシステム構築することが可能となる。

(5) 壁掛け金具

単面ごとの引き出し機構採用によって、マルチ画面設置及び保守メンテナンスを全て前面から行うことが可能、さらに上下左右前後のモニタ位置6軸調整が可能であり、マルチ画面の構成によらず、どの面からでも自由に引き出し調整を容易に実施できる。また、46型・55型共用設計とし、さらにポートレート設置にも対応することで、よりフレキシブルな設置が可能となっている。



LM55P1(W)



BR-LM1KK